

観
世
流

緑泉会

能	小督	坂 真太郎
能	飛越	大藏吉次郎
能	葵上	中所 宜夫

Kanzeryu Nob-Theatre Ryokusenkai



平成 28 年 第 2 回例会

5.14 [土] PM 1:00 ~ (開場 12:00)

喜多六平太記念能楽堂

【小督】坂真次郎 撮影：桜沢哲夫 【葵上】六条御息所の生霊：津村禮次郎 撮影：森田拾史郎

侍女 河井 美紀
小督局 新井麻衣子
源仲国 坂 真太郎

勅使 則久 英志
里人 大藏 教義
大鼓 龜井 広忠
小鼓 曾和 正博
笛 槻宅 聡

後見 杉澤 陽子
津村禮次郎

地謡 菅野 貞男
藤村 敬高
吉留 中森 貫太
桑田 鈴木 啓吾

狂言 飛越

新発意 大藏吉次郎

檀家 榎本 元

〔休憩二十分〕

仕舞 賀茂 桑田 貴志
通盛 鈴木 啓吾
雲雀山 墨 敬子
鶺鴒 鶴之段 津村禮次郎

地謡 菅野 貞男
奥川 恒治
中森 貫太
永島 充

〔休憩十五分〕

巫女 佐久間二郎
六条御息所ノ生霊 中所 宜夫

横川小聖 野口 能弘
野下 野口 琢弘
下人 宮本 昇
大鼓 安福 光雄
小鼓 飯田 清一
大鼓 桜井 均
藤田朝太郎

後見 墨 敬子
奥川 恒治
地謡 河井 美紀
新井麻衣子
藤村 鈴木 永島 陽子
桑田 貴志 坂 真太郎 啓吾 充

附祝言

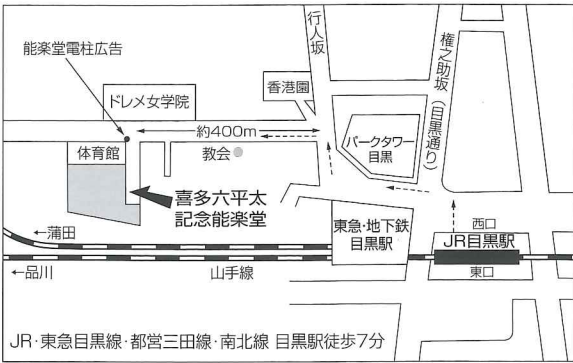
〔終了予定 午後四時半頃〕

2016.5.14 [土] PMI:00 (開場12:00)

喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 品川区上大崎4-6-9 TEL 03-3491-8813

JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。
香港園手前の道を左折し約400m直進、杉野学園体育館手前を左に入る。
※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



●入場料
会員券(年4回)……一般 20,000円 学生 10,000円
1回券(当日券)……一般 6,000円 学生 3,000円

●申込先:各出演能楽師または緑泉会まで
坂 真太郎 TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635
中所 宜夫 TEL・FAX 042-550-4295

〒184-0005 東京都小金井市桜町2-7-18
緑泉会 tel. 042-386-2131 fax. 042-386-2132

能 小督 (こく)

小督の局は高倉天皇の寵愛を受けていたが、平清盛の娘が中宮となつたため、宮中を出て姿を隠してしまふ。帝は日夜嘆いていたが、嵯峨野のあたりに小督がいると聞き、その行方を探すよう、源仲国(シテ)に勅命を出す。しかし、嵯峨野の片折戸のある家というだけの手がかりしかない。仲国は、今宵は八月十五夜であるから、小督は琴を弾くに違いない、その音を頼りに探し出そうと考える。そして帝から拝領した馬で嵯峨野へと向かう。(甲入)

小督(ツレ)は悲しい思いを琴の音で紛らわそうと侍女(トモ)と語り合っている。一方仲国は嵯峨野を捜し回っているが、小督の隠れ家はなかなか見つからない。法輪寺の辺りまで来た時、聞き覚えのある琴の音が聞こえてきた。曲は「想夫恋」……小督の調べであることを確信した仲国は隠れ家を訪ねるが、小督は中に入れようとしない。侍女の取りなしで対面した仲国は、帝の文を渡し返事を請う。小督は帝の思召しに感泣し、漢の武帝と李夫人、唐の玄宗皇帝と楊貴妃の故事を引き、帝と我が身を重ねる。そして、返事を受け取り帰ろうとする勅使仲国との名残を惜しみ、酒宴でもてなす。仲国は月夜の中で舞を舞い、小督に見送られて都に戻る。

狂言 飛越 (とびこ)

茶の湯に誘われた男は新発意を誘い出かける途中、ちよつとした小川にさしかかる。度を超えた臆病者の新発意は何度やっても小川を飛び越えられず、男が手を貸すが、結局小川に落ちてずぶ濡れに。それを笑われて怒った新発意は、過日の相撲大会で男が小男に投げられていたことを引き合いに出して大笑いし、二人は相撲をとることになるが……。

仕舞

賀茂(かもし):賀茂神社の謂われに語られた別雷(わけいかづち)の神が出現し国土守護の誓いをあらわす。雷鳴を擬音化した謡と足拍子によって激しく力強く舞う。

通盛(ともし):平家の公達、通盛は、在りし日の姿で現れて一ノ谷の合戦での最後の有様を見せ、僧に回向を頼む。僧の経文の功德によって成仏し、感謝して姿を消す。

雲雀山(ひばりやま):雲雀山の庵で中将姫をかくまっている乳母の侍従。花に託して身の上話を語り、山奥に隠れ住み霞網にかかった小鳥のように身動きならぬ姫が痛ましいと狂い舞う。鶺鴒(鶺鴒之段 うがい、うのだと):禁漁を侵したために殺された鶺鴒の亡霊。松明を振り立て、鶺鴒を開き魚を追い回す鶺鴒の様を見せ、姿を消す。

能 葵上 (あいのうえ)

光源氏の正妻葵上は、正体不明の物怪に取り憑かれたため重い病の床にある(冒頭で後見が舞台上に置く小袖で表現する)。その正体を知るため、照日の巫女(ツレ)が梓の弓を鳴らして物怪を呼び寄せると、葵上の枕元に現れたのは六条御息所の生霊(シテ)であった。

皇太子妃として過ごした華やかな古を偲び、またその後に契りを交わした光源氏の愛をも失った嘆きを綿々と述べる御息所。恨みのあまり生霊となった御息所は、葵上の姿に嫉妬の情を高ぶらせ、葵上を打ちすえて姿を消す。

葵上の容態が悪化したため、強力な法力を持つ横川の小型(ツキ)が招かれ、加持祈禱により六条御息所の生霊を退散させようとする。鬼女の姿となって現れた六条御息所は小型らと激しく争うが、ついには祈り伏せられ、最後には心を和らげて成仏の身となる。

●次回のご案内……平成28年10月8日(土)

能……楊貴妃 臺留 Yuhkihi Utaidome ……墨 敬子
狂言……柑子 Kanza ……野村 万作
能……野守 天地之声 Nomori Tanchinobe ……津村禮次郎